

令和5年度全国学力・学習状況調査 本校の結果と今後の取組

織田中学校

このほど、本年度の4月に3年生対象に実施されました全国学力・学習状況調査（全国学調）の結果が届きましたので、概要をお知らせします。

なお、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面にすぎないことをお断りしておきます。

1 各教科の結果

	国語	数学	英語
福井県との比較	○	○	◎
全国との比較	○	◎	◎

※全国、県の平均正答率との比較

◎…5ポイント以上上回る

○…±5ポイント

△…5ポイント以上下回る

2 質問紙の結果

- ・「学校に行くのは楽しいか」に対する肯定的回答（「当てはまる」と「ややあてはまる」の合計）が県・全国平均を上回りました。中でも、「当てはまる」と回答した生徒の割合は、同じく県・全国平均を大きく上回りました。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしているか」に対する肯定的回答は県・全国の平均を大きく上回りました。しかし、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対しては、1時間未満と回答する生徒の割合が、県・全国平均よりも上回りました。

3 今後の取組

<国語>

- ・語彙の多さは、伝える力や理解力、幅広い思考、感情のコントロールなどにつながることを理解させ、様々な文章に触れ語彙をインプットさせていきます。また、文章を書いたりスピーチしたりするアウトプットの活動も仕組んでいきます。
- ・NIE や批評文の取り組みなどを通して、「書かれた文章を的確に読む」という技術、「相手の考えを共感的に受け取りながらも、自分の考えを論理的に伝える」という技術を養っていきます。

<数学>

- ・興味・関心を高めるために、「学びたくなる身近な課題の設定」や「学んだことが活かせる場づくり(紹介)」などに努めます。
- ・基礎基本を定着させる指導を継続しながら、特に関数や図形の証明などにおいて、深い理解を目指して様々な問いかけをしたり、資料(文章、図、表、グラフなど)を用いたりします。そして、生徒達が自分の意見と異なる意見を共有しながら、多面的・多角的に考えを深めていけるような授業づくりに努めます。

<英語>

- ・small talk や音読練習を効果的に取り入れて、話すこと(アウトプット)を中心とした授業展開を継続していきます。
- ・話されたり書かれたりしている内容を正確に理解しているか確認するために、Q&A や True or False を活用した授業展開を継続していきます。
- ・自分の考えを整理して分かりやすく伝えるために、接続詞などを用いて順序立てた英作文を書く活動を重視し、継続して取り組んでいきます。

<その他>

- ・今後も生徒が主体となる授業改善に取り組むとともに、生徒が運営に参画する学校行事を設定することで達成感や充実感を味わえるようにしていきます。
- ・それぞれが目標を持って自主的・計画的に家庭学習に取り組めるよう、家庭学習の計画ノート「わづみ」を活用していきます。